

## チャイルドラインとは

- ・18才までの子どもがかけると子ども専用電話です。
- ・全国 41 都道府県で 72 の団体がチャイルドラインの活動をしています。
- ・毎日 16 時から 21 時まで、子どもたちは日本中どこからでも、フリーダイヤルで電話をかけることができます。

子どもたちは、様々なことを感じ悩み問題を抱えています。チャイルドラインは、聴くことで子どもの気持ちを受け止め心に寄り添い、子どもを支えたいと取り組んでいます。子どもたちの生の声を社会に発信し、社会的に問題解決していくことも大事な役割です。社会へアピールし理解を深める場として、夢メッセージ展を毎年開催しています。

## 夢メッセージ展の目的

- ・親子で参加して、沢山の絵本に出会う場を提供します。
- ・子どもが小さいころに読んだ絵本の世界を思い出したり、知らなかった絵本との出会いで新しい世界を発見したりします。
- ・そのようなワクワクする空間に子どもたちを導き読書への期待を高め、本に親しむ入り口になります。
- ・仲間や親子と一緒にアート体験をすることで、表現する楽しさを体感し、コミュニケーションの力を高めます。



※「チャイルドライン」は認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センターの登録商標です。

## 実施報告

日時：2015年8月9日（日）～11日（火）10：00～18：30（最終日は16：00まで）  
会場：宇部井筒屋 4F イベントスペース  
来場者：258人（大人137人、子ども121人）  
スタッフ：延べ113人

## アンケートから

- チャイルドラインについて知るよいきっかけになりました。ありがとうございました。
- 各コーナーとても楽しく遊べました。子どもの知らなかった絵本もあったので、どんな絵本か知る機会にもなり良かったです。4才の娘もおもしろかったと言っています。
- あおむしのふわふわが楽しかった。
- 絵本がいっぱいあって、時間があればもっといっぱい読みたかったです。
- はらぺこあおむしのボールドームが一番楽しかったー！と子どもが言っています♡絵本もたくさんあって、とても楽しませてもらいました。スイミーがかわいかったです。
- 集うところがあるのはとても大切。続けていっているところが素晴らしいと思います。

# チャイルドライン

心と心をつなぐ絵本との出会い

# 夢メッセージ展

## 2015 報告書



NPO 法人子ども劇場山口県センター

【主催】NPO 法人子ども劇場山口県センター 【協賛】宇部井筒屋  
【協力】チャイルドラインやまぐち・うべ★子ども21・子育てほっとサロン  
【後援】山口県教育委員会・山口県社会福祉協議会・宇部市教育委員会・宇部市社会福祉協議会  
宇部市民活動センター「青空」・宇部日报社

【連絡先】NPO 法人子ども劇場山口県センター 〒755-0018 宇部市錦町2番5号（月～金10時～17時）  
TEL：0836-32-4287 FAX：0836-32-4288 E-mail：npokodomo@olive.plala.or.jp

# 絵本ひろば 常設

くつろぎやすい空間を設定し、周りを取り囲む書架に約 500 冊の絵本・ものがたりを展示。  
手に取りやすく、読みやすくを主眼に配置。



絵本を  
あそぶ

「はらぺこあおむしがシーバルク！」



「スイミーと仲間たち」



「おおきなうちはぬけるかな」



「ぐりとぐらと野原でおさんぽ」



「わたしのワンピース」



# 体験ひろば

君のあおむしはどんなちょうになるかな

8/9日

10:30 ▶ 11:30  
15:00 ▶ 16:00

8/10月

13:00 ▶ 14:00

8/11火

13:00 ▶ 14:30

対象 3才以上

参加費 200 円



しろくまちゃんのおいしいほっとけーき

8/9日

13:00 ▶ 14:30

8/10月

10:30 ▶ 12:00  
14:30 ▶ 16:00

8/11火

10:30 ▶ 12:00

対象 4才以上

参加費 500 円

